

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	建設計画学
科目基礎情報						
科目番号	0184		科目区分		専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科	総合システム工学専攻		対象学年		専2	
開設期	前期		週時間数		2	
教科書/教材	教材：プリント配布、レム・コールハース『錯乱のニューヨーク』					
担当教員	今村 友里子					
到達目標						
1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	正確にオフィスビルの計画を理解できる		適切にオフィスビルの計画を理解できる		適切にオフィスビルの計画を理解できない	
評価項目2	正確に複合建設の計画を理解できる		適切に複合建設の計画を理解できる		適切に複合建設の計画を理解できない	
評価項目3	正確に都市計画を理解できる		適切に都市計画を理解できる		適切に都市計画を理解できない	
評価項目4	建築計画について考察し、新たな知見を得ることができる。		建築計画について考察し、既存の知見を得ることができる。		建築計画について考察することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (A)						
教育方法等						
概要	建築は一個の建築物としての側面だけではなく、都市計画や環境デザインも含んだ全体的風景としての側面ももつ。本授業では1級建築士の取得を視野に入れ、比較的公共性の高い建築物についての建築計画について学ぶ。また、建築論的観点から建築を考察することで、建築計画を反省的に捉えることを学ぶ。					
授業の進め方・方法	公共性の高い建築物の建築計画や、その総体としての都市計画、また建築のデザイン手法について幅広く扱う。また、授業前学習として毎回課題を出題し、当日はゼミ形式での授業を行う。					
注意点	成績は定期試験結果（50%）、演習課題の内容の評価（50%）との合計をもって総合成績とする。 上記の到達目標に基づき、「オフィスビルの計画」、「複合建築の計画」、などの各項目の理解についての到達度を評価基準とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		2週	オフィスビルの計画①		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		3週	オフィスビルの計画②		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		4週	オフィスビルの計画③		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		5週	オフィスビルの計画④		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		6週	複合建築の計画①		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		7週	複合建築の計画②		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		8週	複合建築の計画③		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
	2ndQ	9週	複合建築の計画④		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	
		10週	環境デザイン・都市計画①		1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。	

		11週	環境デザイン・都市計画②	1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。
		12週	環境デザイン・都市計画③	1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。
		13週	環境デザイン・都市計画④	1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。
		14週	環境デザイン・都市計画⑤	1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。
		15週	試験返却，学習の内容のまとめ	1 オフィスビルや複合建築の計画と、その総体としての都市計画を理解する。 2 風景の問題など、人間の生きる場についての建築論から建築計画について考察する。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	50	0	0	0	50	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	